

みやのわ

No. 52

2016.7
SUMMER
夏号



特集

平成28年4月
聴覚センターを開設しました

01

	医療機器めぐり	05
病院情報	ワンポイントリハビリ やくくすり 薬に立つ！薬のあれこれ	07
栄養シリーズ	季節の素材で 医食同源れしび	08
リレーインタビュー	笑顔のマイ★スター	09
News	みやのわ情報局	11
Information	市民公開講座のお知らせ…ほか	13
リレーエッセイ	医療技術部長 亀和田 均	14

当院には、「緩和ケア」「集中ケア」「救急看護」「感染管理」「皮膚・排泄ケア」「がん化学療法看護」「手術看護」「糖尿病看護」「小児救急看護」「脳卒中リハビリテーション看護」「認知症看護」の11領域の認定看護師と「がん看護」の専門看護師計16名が活動しています。領域ごとに習得した知識・技術を基に、看護のエキスパート・スペシャリストとして活躍し、チーム医療の一翼を担っています。今後もより質の高い医療が提供できるように看護の専門性、役割を発揮し、日々活動していきます。



当院は日本医療機能
評価機構認定病院です

平成28年4月

聴覚センターを開設しました

耳鼻咽喉科
主任診療科長

言語聴覚士

新田 清一
しん でん せい いち

鈴木 大介
すずき だいすけ

はじめに

2016年4月1日より、当院耳鼻咽喉科外来内に設立された聴覚センターが稼働いたしました。聴覚センターでは、耳鼻咽喉科医と耳鼻咽喉科専属の言語聴覚士が中心となつて、専門的な聴覚診療（補聴器・人工内耳・小児難聴診療）にあたっています。

聴覚センターとは

聴覚センターは、「聞こえが悪くて困っている全ての患者さまに対して、専門的かつ質の高い医療を提供する」ことを目的として設立されました。当院耳鼻咽喉科では2006年4月に聴覚センターの前身となる『言語聴覚外来』を開設して聴覚診療に携わってきました。開設当初は1日10例程度の小規模な外来でしたが、開設から10年が経ち現在では全

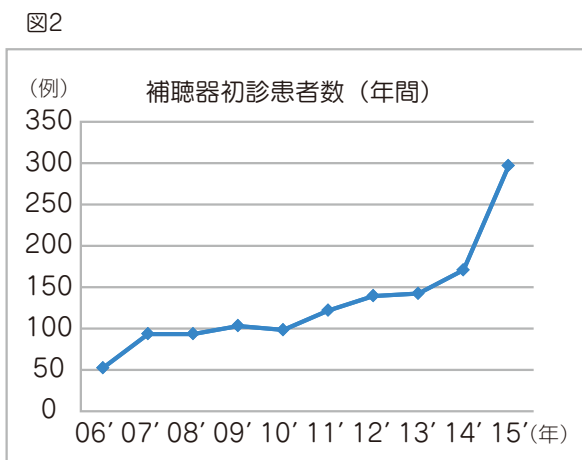
国から初診患者さまが年間約300例、再診患者さまが1日平均40例と、非常に多くの患者さまが来院される外来となっています（図1・2）。

当科の特徴は、耳鼻咽喉科医と言語聴覚士が密な連携の下、聴覚診療に携わっていることです。開設当初は耳鼻咽喉科医5名、言語聴覚士1名という体制でしたが、患者さまの増加に伴い、現在では耳鼻咽喉科医5名の他に、専属の言語聴覚士3名と臨床検査技師1名を増員し、そして看護師3名、事務員4名にも協力してもらい、日々の診療にあたっています（写真…スタッフ）。聴覚センターでは、次に述べるような専門性の高い聴覚診療を行っています。



聴覚センターのスタッフ

【耳鼻咽喉科医・言語聴覚士・臨床検査技師・看護師・事務員】



非常に多くの患者さまが来院される外来となっています。



写真3:検査室



写真2:診察室



写真1:聴覚センター入口



補聴器診療について

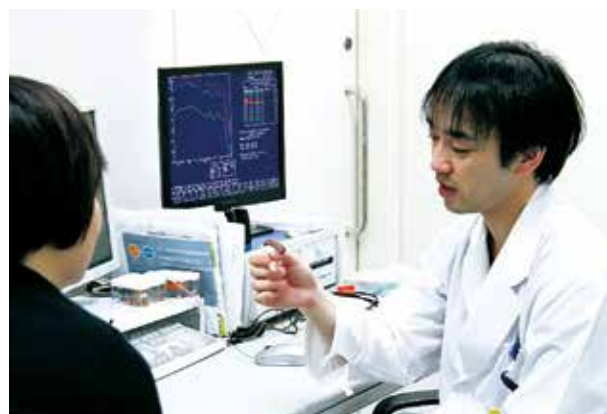
聴覚センター（写真1…聴覚センター入口）では専属の言語聴覚士を中心として、補聴器診療を月曜日から金曜日まで毎日行っており、聴覚センターの中で最も患者数の多い外来となっています。補聴器診療は難聴の方のみならず、耳鳴治療を目的とした方も全国から来院されています。

効果的な補聴器診療のためには、適切な聴覚リハビリテーション（補聴器の調整を含む）が重要です。当科では最初の3ヶ月間は週1回の頻度で来院していただき、聴覚リハビリテーションに取り組んでいます。近年の患者数の急増に伴い、行える診察や検査の数の限界が来ていましたが、今回の聴覚センター開設に伴い専用の診察室を1室から4室、検査室を1室から3室へ増設し、より充実した診療が可能となりました（写真2…診察室、写真3…検査室）。

また当科では補聴器が初めての方でも気軽に試すことができるように、最初の3ヶ月間は補聴器を貸し出して、患者さまの納得がいくまで

何回でも調整を行っています。そして効果的な補聴器を作り上げるために必要不可欠な専門設備も充実しています。中でも補聴器周波数特性装置（補聴器の状態を客観的に把握するための器械）や補聴器適合検査（補聴器を装着した状態で行う効果測定）の設備を3台ずつ所有しており、患者さまにとって最適な補聴器活用に役立てております。

また聴覚センターでは国内に流通している全ての補聴器メーカーに対応できる体制で診療を行っています。一販売店や他の医療機関で補聴器を購入したけど上手くいかなかったという方が、所有されている補聴器を持ち込んでいただくことも可能ですので、お気軽に受診してください。



(写真：プレイルーム内検査室) と
補聴器：人工内耳の調整機器があり、
より質の高い補聴器・人工内耳調整
を目標しています。今後はこのプレ
イルームを用いて両親講座や情報交
換会なども積極的に行っていく予定
です。

難聴の専門医療を受けたい方、補
聴器や人工内耳を希望する方は非
聴覚センターを受診してみてください
い。スタッフ一同、お待ちしております
ます。

筆者紹介



耳鼻咽喉科
主任診療科長
聴覚センター長
新田 清一 医師

慶應義塾大学 医学部卒業
《専門医療》
耳鼻咽喉科一般、耳科学、聴覚医学

《学会専門医等》
日本耳鼻咽喉科学会専門医
補聴器適合判定医師、補聴器相談医
日本頭頸部外科学会、頭頸部がん暫定指導医
慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科客員講師
日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部会
補聴器キーパーソン
同学会 福祉医療(成人・老年)委員長
同学会 学術委員
日本耳鼻咽喉科学会 広報委員会委員
栃木県教育支援委員会委員
栃木県保健福祉部非常勤嘱託医

言語聴覚士
鈴木 大介

2004年 国際医療福祉大学
保健学部言語聴覚学科 卒業
同年 国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科 入学
2006年 国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科 修了
同年 済生会宇都宮病院 入職

耳の構造と人工内耳の仕組み



- ① スピーチプロセッサ※¹内の小型マイクが音を拾い、電気信号に変換します。
- ② 音を分析し、特殊なデジタル信号に変換します。
- ③ この特殊なデジタル信号が送信コイルへ送られ、皮膚を通してインプラント※²へと送信されます。
- ④ インプラントは信号を刺激パルスに変換して、蝸牛内の電極へ送ります。
- ⑤ 刺激は聴神経から脳に伝わり、脳が刺激を音として解釈します。

(出典：メドエルジャパン株式会社)

人工内耳診療について

人工内耳は、補聴器を装着しても効果が十分でない重い難聴の患者さまに對して行つ高度な専門医療です。聴覚センターではお子さまから大人の方まで全ての年代の患者さまに對して、人工内耳を埋め込む手術や調整、その後のハビリテーション※まで一貫して行つています。近年では、人工内耳は様々な形状のものが登場しており、手術を行う際に患者さまの意向で使用する機器を選択していただくことができます。

人工内耳診療では、手術後の調整とハビリテーションが極めて重要であり、人工内耳の効果を大きく左右します。当センターでは人工内耳の調整装置を複数台整備し、なるべく頻回に通院していただける体制を整えております。

※ハビリテーションとは、先天性もしくは幼少時からの障害児を対象とするリハビリテーションのこと。

小児難聴診療について

お子さまの言語発達においては、ことばの入り口となる『聞く』過程がとても重要です。この『聞く』領域を担う聴覚センターでは、難聴の診断から補聴器や人工内耳による聴覚活用やハビリテーションまで総合的な小児難聴診療を行っています。

難聴の診断や補聴器調整の際には正確な聴力評価は非常に重要であり、お子さまの言語発達を大きく左右します。そのため当センターでは小児用の聴力検査機器を有し、新しい聴力検査である視覚強化式聴力検査（VRA）や聴性定常反応聴力検査（ASSR）も完備しております。

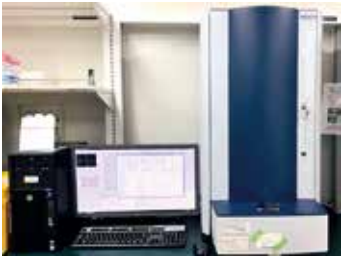
またお子さまのハビリテーションは机上で行う訓練だけでなく、遊びを通して行うハビリテーションもあります。そのため当センターでは広々とした専用のプレイルームを完備し、お子さまがのびのびとハビリテーションを受けることができるようにしました(写真:プレイルーム)。

3. 同定検査・迅速同定検査

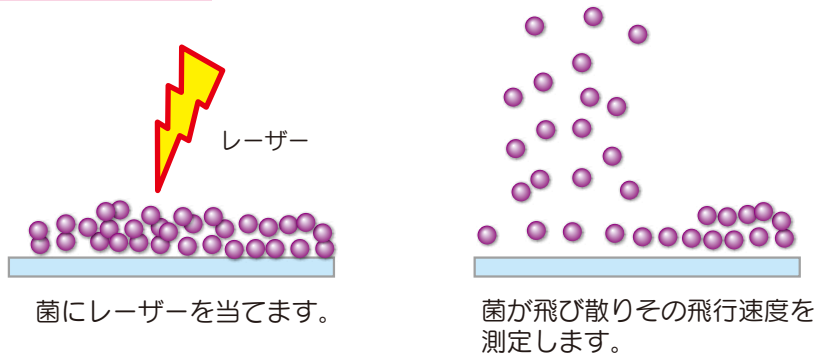
培養検査で発育した菌の名前（性質）を調べるために性状を確認します。
病原菌同定検査は、主に下記の2種類で、一般的な方法と迅速同定が行える方法があります。

最も一般的に行われている方法	近年注目されている新しい検査法（迅速同定）
菌の生化学的性状を調べる方法 菌の性質を調べる方法 数々の糖やアミノ酸等の分解能や産生物を確認する方法 (18～24 時間必要)	菌のタンパク質をイオン化して調べる方法 マトリックス支援レーザーイオン化飛行時間型質量分析計 (MALDI-TOF MS) を使用して菌種同定を 5 分程度 で行っています。 菌種同定精度が遺伝子検査と同等で正確な菌種をより早く同定できます。

【迅速同定機器 MALDI-TOF MS】の仕組み

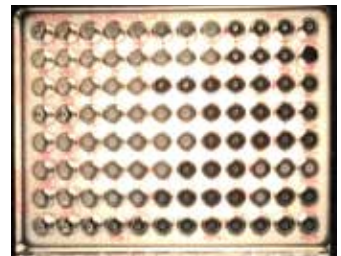


迅速同定機器 MALDI-TOF MS



- レーザーで飛ばしたタンパクマトリックスの飛行時間で菌種名を決めています。
- 2002 年にノーベル化学賞を受賞した田中耕一博士（島津製作所）が開発した高分子の質量分析のための脱イオン化法がこの機器の原理の一つとなっています。

4. 薬剤感受性検査



↑一度に 18～30 種類程度の薬剤がテスト可能な、マイクロプレートを使用した微量液体希釈法です。

感染症の治療用に、数多くの抗生物質がありますが、残念ながら全ての細菌に効くという万能の抗生剤はありません。そのため、検出された細菌ごとに効果のある抗生剤を調べるのが「薬剤感受性検査」です。

5. 結果報告

顕微鏡検査から薬剤感受性試験結果を総合して、患者さまの治療に直結する検査結果を報告します。



おわりに

当院細菌検査室では、2 種類の同定法を使用して通常 18 ～ 24 時間かかるところを 5 分で行えることから、1 日早く病原菌同定結果を報告しています。

菌種同定を早めるメリットとして、菌の種類により効果のない抗菌薬がある程度予想可能であるため、抗菌薬選択や抗菌薬効果の予想に使用されています。

このように、細菌検査室では、日々病原菌の培養と同定検査・薬剤感受性検査を行い、感染症診断の一躍を担っております。

当院では、より早い細菌検査が実施できるよう日々精進しております。

め
ぐ
り
第十回

医
療
機
器

名
迅速同定器

処
2 階
臨床検査技術科 細菌検査室

感染症と細菌検査室のお話

感染症は、ウイルスや細菌をはじめとする多種多様な病原微生物によって引き起こされ、発熱や下痢、咳、発疹などの様々な症状がでる病気です。

細菌検査室では、患者さまから採取した検体（喀痰、尿、便、血液など）の中に感染症の原因となる細菌がいるかどうか、またその細菌に効く抗菌薬は何であるかを調べる検査を行っています。



其の一

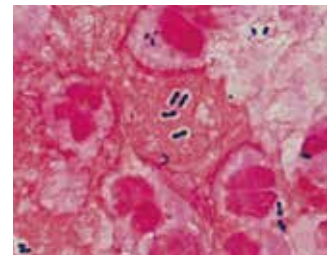
細菌検査で特定できる感染症の病原菌

領域	疾患名	病原菌
中枢神経系	脳膿瘍	嫌気性菌・レンサ球菌・ノカルジア
	髄膜炎	肺炎球菌・インフルエンザ菌
呼吸器感染症	上気道：副鼻腔炎・咽頭炎・喉頭炎	肺炎球菌・インフルエンザ菌・溶連菌・黄色ブドウ球菌
	下気道：気管支炎・肺炎	肺炎球菌・インフルエンザ菌・溶連菌・黄色ブドウ球菌・結核菌・真菌
循環器系	感染性心内膜炎・心筋炎	連鎖球菌・ブドウ球菌
消化器系	腸炎	O157・サルモネラ・カンピロバクター
皮膚	水虫・タムシ・皮膚潰瘍	真菌
	とびひ	黄色ブドウ球菌
耳鼻	中耳炎	肺炎球菌・緑膿菌
	外耳道炎・副鼻腔炎	黄色ブドウ球菌・緑膿菌・真菌
泌尿器	尿道炎・膀胱炎	大腸菌・淋菌
女性器	膣炎	淋菌・マイコプラズマ

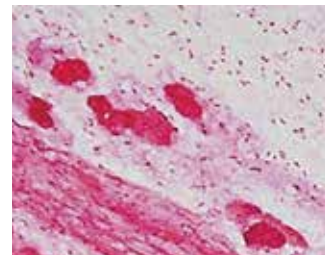
其の二

細菌検査の方法と流れ

とまつ 1. 塗抹検査



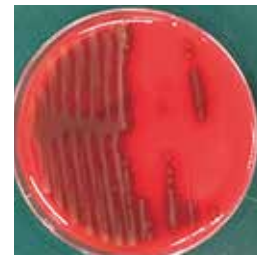
肺炎球菌



インフルエンザ菌

検査材料をスライドガラス（ガラス板）に塗り、色素を使い染色して光学顕微鏡で細菌の有無・量・形態などを観察します。代表的な染色法は「グラム染色」です。細菌は非常に小さいので 1000 倍の倍率で観察します。

ぶんりはいよう 2. 分離培養



肺炎球菌



インフルエンザ菌

検査材料を培地※に塗り、培養し（増やし）、肉眼で観察できる菌のかたまりに育てて、大きさや形、色、においなどを観察します。（35℃ 18～48 時間）

※培地とは、細菌を増殖するために必要な栄養素がたくさん含まれている寒天です。



ワンポイント リハビリ

ウォーキングでの注意事項

前は有酸素運動についてのお話でしたが、今回はウォーキングでの注意事項を紹介します。

ポイントを押さえて、
楽しくウォーキングしよう！



運動するにあたって

体調が良いときに行いましょう。
睡眠不足や体調が優れない時は無理をしないようにしましょう。
また、起床後や食後すぐの運動は控えましょう。

天気や気温に注意

夏場は日差しが強い日中ではなく朝方や夕方の涼しい時間帯、
冬場は日中の温かい時間帯に行いましょう。
脱水に注意し、運動の前・中・後に適宜水分を摂るように心がけてください。

靴と服装に注意

下記のようなものを選択しましょう。

服：①汗をしっかり吸う吸水性のあるもの
②吸った汗で冷たくなるのを防ぐ速乾性のあるもの
③熱がこもらない通気性のあるもの
靴：サンダルやヒールのある靴では無く、つま先にしっかり
足指が動かせる余裕がある靴を選びましょう。

※けがの防止のためにも、運動前後で準備体操・整理運動を行いましょう。

* 次回はウォーキングの速さや距離などについての紹介です *

薬

やく くすり に立つ！ のあれこれ



FILE.10

平成 28 年度診療報酬改定の処方に関わる主な変更点

2016 年 4 月より、医療費削減や処方の適正化を目的とし、診療報酬点数が改定されました。
今回は主に病院での処方に関わる変更点についてお知らせします。

<主な変更点>

- 医薬品の適正使用の推進のため、残薬や重複投薬、不適切な多剤投薬を減らすための取り組みが始まりました。残薬調整にて処方日数の変更を希望される場合は、診察時、医師にご相談下さい。
- 国の方針により、長期処方に関しては、その条件が厳しくなりました。投薬量が適切に処方されるよう、**原則 30 日以内の処方**を基本とさせていただきます。
- 医師による後発医薬品銘柄指定の場合、新たに変更不可とする理由を処方箋に記載することが必要となりました。
- 湿布薬が 1 回の処方につき**原則 70 枚**までとなります。
(但し、医学上の必要があると医師が判断した場合、その理由を併記すれば、70 枚以上でも処方は可能です。)



最大投薬
70枚



ご不明な点がございましたら、薬剤師にお尋ねください。

季

節

の

素

材

で

医食同源れしぴ

ズッキーニと豚肉のレモン風味炒め



今回の素材
ズッキーニ



夏は暑さで食欲が低下しやすい季節です。今回は、そんな季節にオススメな夏野菜のズッキーニを使ったさっぱり食欲増進レシピを紹介します。

ズッキーニには、βカロテン、ビタミンB群、ビタミンC、カリウムが豊富に含まれています。

①βカロテン、ビタミンB群には、免疫力を高める作用がありますので、風邪の予防に良い食材です。

②ビタミンCには、紫外線によるシミやソバカス、肌荒れを予防する働きがあります。紫外線が強くなるこの季節には積極的に摂りたい栄養です。

③カリウムには、身体の中の余分な水分やナトリウムを排出する役割がありますので、高血圧やむくみの予防に効果があります。

さらに、βカロテンは油と調理することで吸収が良くなるため、今回はオリーブオイルで炒めました。

ズッキーニと豚肉のレモン風味炒め

材料（2人分）



ズッキーニ 1/2本(100g)
小間切れ豚肉 150g
レモン 1/3個(30g)

しょうゆ 大さじ2
オリーブオイル 大さじ1

《1人分あたりの栄養素》

エネルギー 166kcal

- ズッキーニは5mm幅の輪切りにする。レモンは薄く輪切り、または半月切りにする。
- フライパンを熱し、オリーブオイルをしき、中火でズッキーニを炒め、火が通ったら一旦フライパンから取り出す。
- ②のフライパンで豚肉を炒める。
- 豚肉に火が通ったら、②で取り出したズッキーニを加える。
- レモン、しょうゆを加えさっと炒める。

ワンポイントアドバイス

- 疲労回復効果のあるビタミンB₁が豊富な豚肉を使うことで夏バテ防止に。
- 今回はレモンでさっぱりな味付けですが、食欲が増すピリ辛な味付けもオススメです。





いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてください！
 の「匠」の素顔に迫るコーナーです！ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

Group photo

シリーズ第11回 薬剤情報指導課

今回は、薬剤師として薬剤情報指導課に勤務する豊田さんにお話をうかがいました！



●●職員紹介●●

薬剤部・薬剤情報指導課の皆さん（前列右から3番目が豊田さん）

薬剤部・薬剤情報指導課とは？

当院の薬剤部には34名の薬剤師が勤務しており、「薬剤情報指導課」「調剤課」「薬品供給管理課」「製剤課」の4つの課に分かれています。その中で14名が薬剤情報指導課に所属し、医薬品情報担当者以外の薬剤師は病棟に常駐し、入院患者さまの服薬指導を行います。その他、カンファレンスや回診に参加し、様々な職種の方との情報共有を図っています。

当院での役割は？

病棟薬剤師の役割は、入院患者さまの薬の適正使用の推進です。入院患者さまへ初回面談で副作用・アレルギー歴、服薬状況（常用薬、サプリメントなど）の聞き取りを行い、入院中の使用の有無を医師へ確認します。入院中は、使用中の薬剤について用法用量・相互作用を確認し、

疑問があれば医師へ疑義照会を行っています。また、患者さまのところへ伺い薬剤の説明（効果・副作用）と、副作用・服薬状況の確認を行い、必要であれば医師へ報告し、提案などを行っています。

当院の薬剤師を選んだ理由は？

薬剤師には様々な分野において、「認定薬剤師」という資格があります。「認定薬剤師」とはその領域における知識や技能を兼ね備え、学術活動や研究実績を認められた薬剤師が有する資格です。当院には資格を持つ薬剤師が多くいるため、幅広い領域のエキスパートの方々と一緒に働き、学びたいと思ったからです。



薬剤情報指導課について



お薬の説明文書。説明後は、患者さまへお渡ししています。



小児科病棟の掲示板。各病棟の掲示板に、担当薬剤師の氏名が表示してあります。



患者さまの状態、治療方針について、医師や看護師とカンファレンスで情報共有しています。

薬の服用方法・効果・起こりうる副作用について、薬剤の写真も交えた説明文書を用いて、患者さまへお話ししています。

特に、私の担当病棟である小児科は初めて薬を飲むお子さまや、粉薬が苦手なお子さまもいるため、それぞれの患者さまに適した剤型や服用方法の提案を行っています。また、食品によって飲みやすくなる薬や飲みづらくなる薬もあるため、食品と薬の飲み合わせについても指導を行っています。

マイ★スターに一問一答！



とよだ あかね さん
 豊田 明音 さん

Q. この職種を目指したきっかけは何ですか？
 A. 祖父が薬剤師だったことや、幼い頃に病院へ行くことが多かったため、医療関係の仕事に興味をもったことです。

Q. 趣味は何ですか？
 A. テニスです。職場の方とも定期的にテニスをしてリフレッシュしています。



豊田さんのある日のスケジュール

8:00 出勤、準備
 8:30 入院患者さまの調剤や服用状況の確認
 9:30 担当病棟の患者さまの服薬指導・記録
 12:00 休憩
 13:00 担当病棟の患者さまの服薬指導・記録
 17:00 病棟カンファレンスへ参加
 17:30 退勤

Q. 特技は何ですか？

A. パン作りです。焼きたてのアツアツほかほかのパンを食べるのが大好きです。

Q. 尊敬する人は誰ですか？

A. 両親です。

Q. 好きな言葉は何ですか？

A. 逆境を楽しめ。

Q. 気分転換したいときはどうしていますか？

A. 食べることや出かけることが好きなので、少し遠出をして、美味しいものを食べに行きます。

Q. どんな性格ですか？

A. ポジティブ思考！

Q. 今後の目標・意気込みをどうぞ！

A. 患者さまの不安な気持ちや辛い気持ちを少しでも解消できるように服薬指導を通じて関わっていきたいと思います。





一般社団法人 第36回日本登山医学会学術集会を開催しました



開会の挨拶、会長講演を行った上小牧憲寛医師

6月4日・5日、上小牧憲寛大会長(当院救急科医師)のもと、栃木県総合文化センターにおいて、一般社団法人 第36回日本登山医学会学術集会を開催しました。栃木県では初めての開催であり、医師や研究者、医療従事者ばかりでなく、登山や高所での健康に関わる旅行者、山岳ガイド、遭難対策関係者など総勢約170名が参加しました。今回の大会テーマは「次世代の認定山岳医※のために」です。

発表は多岐にわたり、低体温症や凍傷といった寒冷による障害、紫外線や宇宙線による障害など循環器・呼吸器系を中心とする病態生理、登山や高所で起こる運動機能や神経機能などのあらゆる

障害をはじめ、山岳事故や山岳診療所について、また東京オリンピックの追加種目候補として注目を集めている「スポーツクライミング」に関することなど様々な発表が行われました。

※認定山岳医とは



山岳医とは、山でけが人や病人などが発生した際に現場まで行き病院に搬送するまでの間、患者のケアをする医師です。認定山岳医となるには、高所医学、山岳医学、旅行医学等に関する高度な医療知識のみならず、山岳環境でのサバイバルやレスキューに関する十分な技術があり、山岳救助関係者と共に活動ができ、万一の場合には、単独で下山できるレベルの登山技術が求められています。

その他、特別講演やパネルディスカッション、シンポジウム等多くのプログラムが行われました。

大会終了後は、日本人初の8000メートル峰全14座の登頂者であるプロ登山家の竹内洋岳氏と山岳気象予報専門の会社を営む猪熊隆之氏をお招きし、市民公開講座「竹内洋岳の8000m峰14座登頂とそれを支えた猪熊隆之」を開催し、約200名の聴衆が集まりました。質疑応答では盛んに質問が飛び交い盛況のうちに幕を閉じました。



竹内洋岳氏



猪熊隆之氏(写真左)



済生会熊本病院へ診療救護班が派遣されました

4月14日、熊本県を中心として、最大震度7を観測した熊本地震が発生しました。これを受け、4月20日(水)～24日(日)の5日間、当院から済生会熊本病院へ診療救護班を派遣しました。以下に、被災直後の済生会熊本病院の様子を写真でお伝えします。



当院での出発式



病院内エントランスの様子



全国の済生会関連施設から届けられた支援物資



ミーティングの様子

実際に派遣された方にお話を伺いました！



お話を伺ったのは、
事務員 齋田さん(左端)

活動のほとんどの時間、全国の済生会の施設から届いた支援物資の整理の手伝いにあたりました。例えば食料品、飲料品は種類毎、賞味期限毎に整理されており、取り出しやすさ、賞味期限の管理といった点で工夫がみられました。整理が一通り済むと、職員へ支援物資の支給を行いました。栄養調整食品や飲料水のほか、賞味期限切れの水を生活用水として配りました。生活用水の水は個数制限無しで配っていましたが、1ケース6本入りを数ケース希望される方もおり、断水による生活への影響を改めて感じました。

物資を受け取った皆さまから「こんなに物資をありがとう。」など感謝の言葉を沢山頂きました。私は、ただ倉庫の整理をし、物資を配っていただけなので、申し訳ない気持ちになりつつ、少しでも役に立てたのかと安堵しました。

この度の震災等により被害を受けられた皆さま、またそのご家族さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

INFORMATION 1

一般外来診療のご案内

受付時間 **8:30~11:00**

診療科により受付時間が異なる場合がございますので、詳細はホームページまたは初診受付前設置の「診療部各科外来担当医師表」をご確認ください。受診科に関するご相談は、1階エントランスホール「総合案内」の看護師にお気軽にお声かけください。

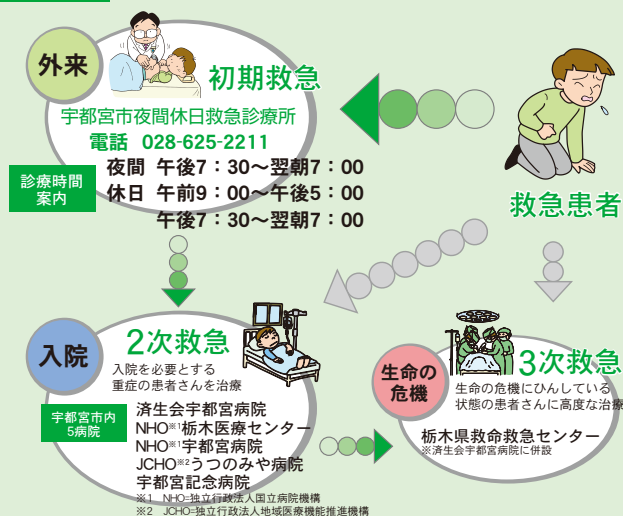
※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参して頂きますようお願いいたします。
(初診時に紹介状がない場合には、保険外併用療養費、税込5,000円をお支払い頂くこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。)
お問い合わせやご質問がございましたら、総合受付までお尋ねください。

**お盆休み期間中(8月13日~16日)も
通常通り※診療いたします。**

※土曜日午後・日曜日の一般外来は休診となります。
救急の患者様は救急外来にて対応いたします。

INFORMATION 2

栃木県からののお知らせ 救急医療体制のお知らせ



INFORMATION 3

栃木県からののお知らせ

とちぎ子ども救急電話相談

☎ 028-600-0099

午後6:00~午前8:00(平日)

午前8:00~午後6:00(休日)

お子さまの急な病気やけがで心配なとき、
ご連絡ください。
看護師が対応のアドバイスをいたします。



〈診療実績〉

	平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月
延外来患者数	32,794人	29,319人	27,772人
実入院患者数	1,400人	1,340人	1,298人
平均在院日数	13.3日	13.3日	13.6日
救命救急センター患者数	1,154人	1,226人	1,477人
救急車台数	413台	440台	459台
手術件数	613件	549件	497件

INFORMATION 4

2016年度 市民公開講座のお知らせ

当院では、地域の皆さまが病気や医療について知識を深め、健康増進・維持に役立てていただけるよう、健康講座を開催します。今年度開催の講座は以下の通りです。参加は無料となりますので、ぜひご参加ください。

● スケジュール(予定)

市民公開講座	日 時	内 容	講 師
第4回緩和ケア地域連携勉強会 「がん患者の健康管理」	10月1日(土) 14:00~16:00	がん患者の健康管理、 日常生活の送り方について	緩和ケア科 主任診療科長 粕田 晴之
NST市民公開講座 「飲み込みと肺炎の関係」	10月22日(土) 13:30~15:00	誤嚥性肺炎の発生メカニズムを 理解し、日常生活に役立てる	リハビリテーション科 主任診療科長 中澤 征人
第6回緩和ケア地域連携勉強会 「緩和ケアへの理解」	10月29日(土) 14:00~16:00	近年の緩和ケアについて	在宅診療専用診療所 ケアタウン小平クリニック院長 山崎 章郎
第3回脳卒中市民公開講座 NO卒中!	11月5日(土) 14:00~16:00	脳卒中の内科・外科的治療と リハビリテーションの理解を 深める	神経内科 主任診療科長 富保 和宏 脳神経外科 主任診療科長 中務 正志 リハビリテーション科 主任診療科長 中澤 征人 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 佐藤 郁美
誰でも実践出来る糖尿病対策	11月19日(土) 13:30~16:00	自宅で出来る食事療法、 運動療法について	糖尿病・内分泌内科 医師 糖尿病認定看護師、糖尿病療法指導士 など

※会場はすべて当院2階のグリーンホールです。講座の詳細な内容は決まり次第、ホームページや院内ポスターでご案内します。

ホームページのご案内

当院ではホームページを開設し、さまざまな情報を提供しております。
みやのわバックナンバーも公開しております。

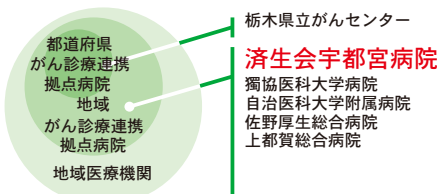


www.saimiya.com



地域がん診療連携拠点病院

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、地域の医療機関や他のがん診療連携拠点病院との連携を密にして、より良いがん診療を提供していきたいと考えています。当院では1階「がん相談支援センター／医療相談・看護相談室」で緩和ケア認定看護師を中心とする看護スタッフが、がんに関するさまざまな質問や相談におこたえています。



地域医療支援病院

地域医療支援病院は、他の病院または診療所から紹介された患者さまに対して医療を提供していること、医療機器などを地域の医療機関と共同利用できること、救急医療を担っていること、地域の医療従事者のために研修を行っていること、などの役割があり、都道府県知事の承認を受けます。

当院は「地域と共に進化し続ける病院」のビジョンの下、急性期医療・救急医療を担い、ますます信頼される病院を目指していきます。

リレーエッセイ

基準範囲



医療技術部長
亀和田 均

還暦も近くなると自分の健康も気になり、病院や健診で血液検査を実施し結果が届くと、基準範囲内に入っている事を願う事が多くなってきました。そんな方多いのではないのでしょうか。

ところで、基準範囲とは測定する試薬、機器などにより多少異なってきますので測定施設毎に違ってくると思います。また、統計学的に健常人の95%が含まれる範囲で設定されています。診療では基準範囲「臨床判断値」も多く使われています。臨床判断値は、特定の疾患群と非疾患群の判別する為の「病態識別値」、治療を開始する判断のための「治療閾値」、健康診断など特定の病態に発症率が增加する事が明らかにになった閾値である「予防

医学的閾値」、専門学会からの診断基準、ガイドライン等「診断基準」などがあります。目的や検査毎に使われ方が異なっています。自分の体調に応じて個々の基準範囲を知っておくことが大切だと思います。病院の連携が進む中で各施設の基準範囲が異なっている現状では検査結果を共有する事ができません。栃木県また全国レベルで標準化事業が展開され統一する方向で進められており、県内の検査結果も標準化されつつあります。

最後に、当院が地域の中心となり標準化された検査結果が提供できるよう努力していきたいと思っています。

ちょこっとメモ

7月14日

内視鏡の日

7と14で「内視(ないし)」と読む語呂合わせから内視鏡医学のさらなる発展と普及を願って、公益財団法人「内視鏡医学研究振興財団」が「内視鏡の日」と制定しました。

「内視鏡」=医療用というのが一般的な捉え方ですが実は医療分野にとどまらず、他の分野でも用いられ学術・産業の分野、そして災害時には被災者発見などにも用いられるというので驚きです。

さて、当院では人間ドックのオプション検査で胃内視鏡検査を行うことができます。要予約ですがたいへん有意義な検査となっていますので、ご予約をしてみたい方が多いと思います。



編集後記

みやのわ
編集スタッフの



いよいよ本格的な夏を迎えましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。月日の流れは早いもので、入職したあの日から3ヶ月が経ちました。そうです、実は私、今年度の新入職員でございます。新しい環境に戸惑いつつも、先輩方や同期のおかげで、楽しく働くことができています。

ところで、今年から国民の休日「山の日」ができるのはご存知ですか？山に親しみ感謝するための祝日だそうです。日本の山と言えば富士山ですが、栃木の山と言えば男体山でしょうか。なんと県内100以上の校歌の中で歌われているようです。昨年の夏、私も初めて男体山にチャレンジしたのですが、山頂の景色が忘れられません！この祝日をきっかけに、登ったことのある方もない方も、足を運んでみてはいかがでしょうか。

最後になりましたが、これからも、初心を忘れず業務に励んでまいります。今後とも、済生会宇都宮病院並びにみやのわを、よろしくお願い申し上げます。



URL: www.saimiya.com

済生会宇都宮病院理念

1. 医療サービス提供者として次の基本を守ります
 - ・安全で信頼性のある医療を提供します
 - ・医療を受ける方の権利と尊厳を尊重し、満足度の向上に努力します
2. 地域基幹病院として次の役割を果たします
 - ・地域医療の向上に貢献します
 - ・地域の医療福祉機関と密接に連携し、地域から頼られる存在になります

当院における患者さんの権利と責任

Rights & Responsibility

患者さんの権利 Rights

1. 個人として尊重され、適切な医療を受けること
2. 病気や治療の内容、および回復の可能性について、わかりやすい言葉や方法で説明を受けること
3. 手術や検査など重大な診療行為を受けるかどうかの判断に、必要かつ十分な説明を受けること
4. 治療方針の決定に主体的に参加し、自分の意思で治療を受けるかどうかを決定すること
5. 痛みを和らげるために、原因に応じた適切な治療、ケアを受けること
6. 他施設の医師に意見（いわゆるセカンドオピニオン）を求めること
7. 医療に関する個人情報は保護され、プライバシーが守られること
8. 治療を継続するために、適切な医療機関の紹介を受けること
9. カルテ開示を求めること
10. 会計の内容について説明を受けること
11. 治療に納得がいかない場合は、自分の意思で退院すること
12. 診療行為において事故が発生した場合は、その内容を事実に基づいて、可能な限り詳細に説明を受けること

患者さんの責任 Responsibility

1. ご自身の病状について、正確に話していただくこと
2. ご自身の病気や医療行為の経過について気になる点があれば、スタッフに申し出ていただくこと
3. 同意された治療を受けるにあたっては、医療スタッフの計画や指示に基き、療養していただくこと
4. 治療を受けない選択をされた場合、または医師の指示に応じない場合、それにより生じる医療上の問題には、ご自身の責任で対応していただくこと
5. 受けた医療に関する支払いには、速やかに対応していただくこと
6. 当院での入院治療が終了した場合には、医師の指示に基づき、速やかに退院または転院していただくこと
7. 他の患者さんや医療スタッフへの迷惑行為（大声、威嚇、暴言、医療行為の強要など）は行わないこと
8. 院内は禁煙のため、喫煙は院外の喫煙所を利用していただくこと
9. 面会時間、電子機器の取り扱いなど、院内の規則を守っていただくこと

当誌「みやのわ」では、読者の皆様からのご意見や感想をお待ちしております。

お名前等の個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿頂いても結構です。また、診療に関する個人的なご質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。

はがき等の場合 〒321-0974 宇都宮市竹林町911-1 済生会宇都宮病院 経営支援課
電子メールの場合 miyanowa@saimiya.com